

	<p>串木野中学校教頭通信</p> <p>Kyo to correspondence</p> <p>～当たり前のことを当たり前～</p>	<p>第7号</p> <p>令和5年 5月30日 (火)</p> <p>いちき串木野市立串木野中学校教頭 文責 長岡</p>
---	---	--

自分が選んだ道の責任

「学校でメイクしたらなんでダメ？」という質問への答えが話題 「自分が選んだ道の責任」

「ブラック校則」というキーワードをよく聞く機会のある昨今の世の中ですが、先月のヤホーニュース (Yahoo!ニュース) の掲載記事を紹介합니다。このニュースはタレントのMattさんのインスタグラムの内容です。

タレントのMatt (28) が8日、自身のインスタグラムのストーリーズを更新。ファンからの「学校はなんでメイクしたらダメなんでしょう」という質問に回答した。

Mattは「薄いリップを塗っただけで注意をされたというファンからのメッセージを掲載。「学校はなんでメイクしたらダメなんでしょうか。スクールメイクよりももっともって薄い (ウォーターリップのほんの少し色つきを塗っただけ) で注意されました。正直指定校推薦のために今まで頑張ってきたし辛いし怖いです。

ちょっと注意されただけで凹むしなんかダメな理由があんまり分からなくて苦しいです」とつぶられた悩みに対し「分かるよ。すごいい分かる」と共感。さらに自身も学生時代に「身だしなみ検査に引っかかって何度も怒られた」とし「この頃はメイクはしてなかったけどオシャレしたかったから結構大変だったよ」と振り返った。

だが「でもその厳しい学校を選んだのは自分自身だし、辞めることは簡単だからいつだって逃げ出せるし。逃げ出した先に何があるのかなって考えると何もないんだよね。置かれた環境、その場のルールに従うのは自分が選んだ道の責任だと思う」と持論を展開。「いま思うと学校の思い出って沢山あるし 身だしなみ検査のことなんて忘れてた！それより沢山友達と楽しいことした思い出がいまでも鮮明に残ってる！可愛くなんていつでもなれるよ いまはその場でベストを尽くすの 対抗しても仕方ないわ」とつぶった。

さらに、現在の写真を投稿し「学生時代が終わればこんなにも自由に表現できて自由に生きれるの。安心して そのルールが恋しくなる程大人になると自由だよ」とし、「※職業により個人差があります」とも付け加えた。

それに対し「ポジティブだし美しいしホスピタリティあるし素晴らしい」、「生徒の言い分も分かりますが、マツ様のおっしゃる通りです！なんだかすごく救われます」という教師の声も紹介していた。

辞めることは簡単だけど逃げ出した先に何があるのか？考えさせられる言葉ですね。「らしさ」という言葉はよく聞きます。「自分らしさ」「中学生らしさ」「先生らしさ」…「自分らしさ」と「自分勝手」は、似ているようでまったく違うもの。これを履き違えないようにすることは重要です。「自分らしさ」「中学生らしさ」を真剣に考えてみることもいいかもですね。

自分らしさとは？



自分らしさはスポットライトを当てる部分によって変わる